

薄型容器対応
コスト対応

プレストパウダーパフ

片面生地パフ 成形パフ ～東京パフ独自の製造方法～



 **Tokyopuff co.,Ltd.**

プレストパウダーパフ (片面生地パフ 成形パフ) とは？

- 片側は生地、反対側は合成皮革を貼り合わせたパフ。
- 合成皮革面にリボン付きが主流
- リボンにロゴ入れが可能

メリット

- 薄型容器に対応可能
- コストが両面生地のパフと比較して安い。
- プレストパウダーはもとより、ルースパウダーなどのお粉系の使用も問題ありません。



 **Tokyopuff co.,Ltd.**

独自の製法について

従来型プレストパウダーパフ(片面生地パフ・成形パフ)は

リボンを合成皮革面上に取り付けます。



パフサイズにも依りますが、
リボンが短いため指が1,2本しか入らない・・・。

今回ご提案品はリボンを合成皮革の外側から取り付けるのでリボンが長く使用できます。



写真右上直径55mmのパフ リボン長は35mm

写真左下直径55mmのパフ リボン長は48mm

使い易さが違います。

 **Tokyopuff co.,Ltd.**

まとめ

技術・機械設備

- 弊社千葉工場の得意製造品目である。
- 全ての工程に連続式の機器を導入し、今後も安定性とより量産を目指している。

使用性

- 外付けリボンの場合、使い易さがUP・化粧効果がUP。

コスト

- 両面生地パフよりもコスト面で勝る。
- 両面生地パフ > 外付けリボン > 従来リボン

薄型容器の場合には、当製品のご使用をお勧めいたします。



 **Tokyopuff co.,Ltd.**